

か
ろ
の
か
か

027
64
2

027
14
2



序

伊勢とて一邑崎乃みまらるる
 大津の村にたゞるる所ありのたゞるる者
 何れもまらるる所ありのたゞるる者
 如き所ありのたゞるる所ありのたゞるる者
 結ぶるる所ありのたゞるる所ありのたゞるる者
 或る所ありのたゞるる所ありのたゞるる者
 一有欲の或る所ありのたゞるる所ありのたゞるる者
 のせんまらるる所ありのたゞるる所ありのたゞるる者

たかかひほもをきくをくも母にけい
いもをめまを調くに美事業るれ
まはしてわをわをわにわいそはそ
表おるまを欽まをまを素のま
ねたふたふたふたふたふたふた

是洛

五付尾
西

為 兩大御神奉納於豊宮崎文庫興行

俳諧之連歌

有節

神ををもち里孔編の秋

ひらややく月のゆい
之青

初を初ふま餅を流るる
青松

素袍の袖乃ちこれ
以焉

高殿いほにとよあ
修卷

時斗ふあぬ拍子木の音
桂蔭

葛匠もこれ起極ふ古物し
 白止
 石の出さる道ともまた鳴ぬ蟬
 翠雲
 乃せとよ山にほまふ藤のり
 玉岫
 片の紅包ふはわりあける肩
 姜青
 又し叫てをたけりう侍けり
 六川
 けふの日記とつとをれぬ
 青岬
 すゑてある路のさるはたえ
 在竹
 くらりもさぬに時白く同く
 鶯之

赤白平路のあつる森の松
 時兆
 竹籠物か影を待ててさへ
 雨律
 うつりとも松扇おとす月照り
 之青
 けさこれ多よ庭のむし持
 青松
 種ちくくまう結果けあまうえ
 丛焉
 時もたえにほまふ魚うり
 修卷
 嘆うもさる地裏のまゆとる
 桂蔭
 餅干さる鳩のけぬ暖か
 白止

翠雲
 玉岫
 菱青
 六川
 青岨
 在竹
 篤之
 時兆

日ぬきに脊^ナ又^ナ右^ナ左^ナの^ナ際^ナの^ナり
 留のみ^ナ鳴^ナら^ナえ^ナお^ナそ^ナ士^ナ幣^ナ舞
 宇^ナ城^ナ法^ナの^ナま^ナち^ナは^ナれ^ナお^ナい^ナえ^ナと^ナ
 さら^ナの^ナ屍^ナ風^ナを^ナ想^ナく^ナら^ナど^ナ
 野^ナ芝^ナ居^ナの^ナ星^ナは^ナく^ナれ^ナ東^ナの^ナ影^ナを^ナ
 と^ナの^ナ田^ナも^ナ尚^ナれ^ナみ^ナと^ナり^ナち^ナを^ナ是^ナ
 乘^ナす^ナち^ナの^ナ一^ナ里^ナは^ナれ^ナふ^ナむ^ナら^ナば^ナ
 後^ナに^ナお^ナれ^ナく^ナふ^ナと^ナゆ^ナふ

雨律
 之青
 青松
 众焉
 修卷
 桂蔭
 白止
 翠雲

其^ナら^ナう^ナて^ナも^ナ知^ナぬ^ナふ^ナり^ナす^ナ兒^ナの^ナ泣^ナき
 り^ナら^ナれ^ナ位^ナ存^ナの^ナ世^ナと^ナう^ナと^ナれ^ナ恋^ナ
 發^ナ臺^ナも^ナ苔^ナむ^ナま^ナえ^ナあ^ナれ^ナ増^ナり
 三^ナ笠^ナ詠^ナら^ナお^ナる^ナく^ナら^ナば^ナ乃^ナ月^ナ
 以^ナよ^ナる^ナ雪^ナの^ナ下^ナより^ナ扇^ナ啼^ナて
 冬^ナの^ナ支^ナ度^ナと^ナ固^ナふ^ナ詠^ナふ^ナぬ^ナ
 日^ナ傭^ナ木^ナの^ナ杵^ナあり^ナく^ナや^ナむ^ナ噴^ナひ^ナ祭^ナ
 よ^ナし^ナ守^ナ公^ナも^ナ相^ナ於^ナ忘^ナれ^ナぬ^ナ

女房ハ酒のきり人を氣きき
 襖ほそめ平あけの挨拶
 炬志の何れも具足たわめく
 立派ふ冠者の白髪はぬ
 敬免あふ少佐も人をむす月
 地を定ふ橋も赤馬の松が
 赤く火の燭も様名掛外竹
 湯水の抄乃利ぬう早
 菱青 六川 青岬 在竹 篤之 時兆 兩律 之青

一日詠をお横使不属帽子きて
 おく年も肺後大のち吼
 過店を野たふととる廣げ立
 や川ととる入合定政の挽
 長サ役の帳第あつる年味あて
 猶さぬお地の人乃ぬ法さ
 ひと谷て暑きさる所の遠き
 梅ととる草つる年回ととるよみ
 青松 夕焉 疹卷 桂蔭 白止 翠雲 玉岫 菱青

通ひり被ふ山々松林し
 六川
 秋はまよよと秋都の松はあ
 青岬
 杉のうらみ霧をうらみ嵐をうらみ
 在竹
 古よ狐のよくワヤくする
 篤之
 垣法少く少なき所は知編
 時兆
 先祖の言をうらみも名もあふ
 雨律
 月影は陸へ真く冥ふ網
 之青
 あつらひは法踏りまをこころ星
 青松

^十阿鼻院のうらみと嶽のとうくに
 夕焉
 死んとも波濤は這入る糸糸
 修卷
 艱もあつらひやうに冠うらみ救は
 桂蔭
 汗もあつらひやうに冠うらみ救は
 白止
 お倉りすれ首傘のゆまに
 翠雲
 一む汗はあつらひやうに冠うらみ
 玉岫
 兎をうらみ汗ぬき霧をうらみ
 菱青
 ようにあつらひやうに冠うらみ
 六川

肩よりは横道の小松林を並ひ
 啼風千濤の浪はれど松露
 啄き木は漣て扱ふ事も別
 摺火も急千物事ぬき別
 方角と月と知くは仮やとら
 赤糟の味くま汁の罪業
 法もかもし胸のおもて業を業
 何れとおそくは代友の癖
 青岬
 双焉

能く陰の暗路ある電うぶ
 遠くふらふ家乃新 建
 坂城ふるまの軒あふくはて
 晴まきわくせれりしゆむ
 よる月代の新ま夜の香は竹よ
 めくはくは連千はたきまの目
 修巻
 桂蔭
 白止
 翠雲
 有節
 曲淵

百韻満尾

執筆

掟

一 緒袴

停止

一 出合

遠近

一 月花

但レ聲先 一句一直

一 釋教 斟酌ハ下支

一 不淨之輩不可入



蕉門御集冊摺物師

皇都茶通寺町東金剛

湖雲堂

近江屋利助

